

## 令和5年度第1回 里庄町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和5年10月27日(金)〈開会9時00分、閉会9時40分〉
- 2 場 所 里庄町役場本庁舎2階 第2会議室
- 3 出席者 町 長 加藤 泰久  
教育長 杉本 秀樹  
教育委員 三吉教育長職務代理者 堀 朝子  
藤井 幸治 小野 愛  
オブザーバー 赤木副町長 村山教育委員会事務局長  
淡路教育委員会参事 天野教育委員会参事  
事務局 仁科総務課長 佐藤総務課主事

### 4 議事にかかる出席者の発言

#### (1) 時間割の削減について（議事進行：町長）

##### 【加藤町長】

時間割の削減について、教育委員会から説明をお願いしたい。

##### 【天野教育委員会参事】

時間割の削減について、説明する。

学校の教職員の働き方改革を柱として説明する。

背景として、文部科学省に対して、中央教育審議会が、先生方を取り巻く環境の改善の傾向が広がらず、働き方改革が進まないことから、緊急的にこれに取り組むよう提言が出された。

このままでは、教育現場がもたない、先生のなり手が少なくなる。そうなれば先生の急な休みに対しての代わりがいなくなる。担任が教室の前に立つということ自体が成りたくなっている問題を解決する必要がある。

今年度の岡山県の教職員採用試験の結果、小学校の倍率が3倍を割る結果となった。岡山県として初。志願者が減ると講師の先生方の減少にも繋がるため、課題を解決すべく、緊急に対策を行う必要がある。

提言内容は時間割の削減。標準授業時数を大幅に上回っている学校は見直すことを前提に点検を行うようにとのこと。年間1,086単位以下となっているが、それぞれ小中学校の1年間に、各教科を何時間教えるという標準授業時数が法律で決まっている。例えば小学校、高学年及び中学校で1,015時間といった基本的な時間数がある。

町内でもインフルエンザ、台風、コロナウイルスの影響で、学級が臨時休業となったときに、その1,015時間を下回らないようにするため、従来は、時間数に余裕をもたせて計画をしている。その余裕を取りすぎないようにという指示が提示された。

今年度も、里庄町内の小中学校も余裕時間を持ってスタートしましたが、年度途中でこ

のような指示が出たことで、まず、中学校が対応。標準授業時数が大幅に上積みされているので、削りたい意向を示している。参考として国が出している働き方改革の手引きの中に、改善に向けての具体例が載っている。これは茨城県の守谷市というところが市全体を挙げて取り組んでいる。1,015 時間以上余裕を持ちすぎない工夫として、今まで授業を6時間目まで毎日行っていたところを曜日によって5時間目で終了するということを実施している。

小中学校ともに、月曜日と水曜日と金曜日を5時間目で終了。小学校1年生は4時間目で下校している。これを手本として、中学校で、今年度後半で実施したいとの申し出あり。

試験的に今年度10月16日から実施。月曜日、水曜日、金曜日を5時間目下校にした。今まで部活動は水曜日以外実施していたが、5時間目下校の月曜日、水曜日、金曜日だけを部活動を実施し、火曜日、木曜日は部活をしないように実施している。

5時間目下校になることで、部活動の充実、先生方の余裕もできることから、一石二鳥を狙うことを中学校は見込んでいる。

また、今までなら、冬の部活動は下校時間が早まることから、6時間目下校となると十分に活動できない現状もあったが、それも解決できると見ている。

小学校も週1回は5時間目下校を作る方向で取り組んでいく。11月6日の月曜日から試験的に実施していく。

この取り組みの効果は良いことばかりではないが、現段階では大きな混乱は起こっていない。今後の様子を確認して、来年度に向けて課題を整理しながら決めていく。

働き方改革の面が強いが、その先に先生が楽になるという印象が強すぎると、保護者に間違った理解をされる可能性もあるので、丁寧に説明をしていく。

今まで先生方の過重労働により、苦しみながら仕事をされている方も中にはいることから、本来すべきことを十分に行えるように、先生たちの学習指導や教材研究を充実させ、子供たちの学びの質を高めていくことで、保護者からの理解を得ていく。

#### 【加藤町長】

説明があったことについて各委員から意見等があればお願いしたい。

#### 【三吉委員】

先生の負担が本当に軽減されるのか、考えられる課題検討事項も多い。期待される効果としても先生寄りが多い。始まったばかりだが、天野教育委員会参事の意見を聞きたい。

#### 【天野参事】

完璧な取り組みではないため、今までの業務と差が出るので、戸惑う先生もいるのは理解している。例として中学校は、全教科担任制なので、持っている授業の持ち駒が小学校の先生と比べて少ない。余裕時数を減らすとなれば、時間割の工夫が必要。先生方の意識改革も必要ではないかと考える。まずは実施してみて、先生の感想も聞いていく。

#### 【堀委員】

先生方の意識改革が必要と発言していたが、現状生徒の理解を含めて生活ノートなるものを作って、担任と生徒の間でやり取りをしているところもある。これが時数を減らすことで、部活動を持っている先生と持っていない先生との差ができ、先生によっては負担が

大きくなるのでは。また、出張や連休を取ろうかと思ったときに気持ち良く取れるような職場の雰囲気も必要。

#### 【天野参事】

現状先生は、例として学校に行きにくい生徒に対して、自分の空き時間を利用して対応されている方もいる。一生懸命やってくれている先生方のバランスを取りながら、皆さまが納得してもらえそうな雰囲気づくりにしていく。

#### 【藤井委員】

授業によっては調整する必要がある。やらないわけにはいかないが、戦略を考えて今後取り組んでいくことで効率化を図るべきと考える。

#### 【杉本教育長】

働き方改革でいくと教員の仕事はきりが無い。例えば教材研究。自分たちがどのような流れで子供たちに理解してもらおうかと考えるのは、先生方によって差が出てくる。いろいろな角度から働き方改革を見直していく必要がある。

### (2) 校務のDX化について

#### 【加藤町長】

校務のDX化について、教育委員会から説明をお願いしたい。

#### 【天野参事】

これも働き方関連の一つである。ICTの活用による校務効率化の推進を目的に、岡山県教育委員会が各市町村教育委員会に、次のことについて直ちにデジタル化を進めるよう提言が出されている。

7項目順番に説明しますと、まずは保護者連絡システムの導入。取り組み事例として学校と保護者を結ぶということで、保護者から学校への欠席連絡、あるいは病院に行くことでの遅刻連絡を電話ではなく、アプリケーションを使うことで時間削減を図る。また保護者への連絡事項をこれまで大量の紙を使用していたが、PDFデータを送ることでペーパーレス化にもつながる。これは来年度の実施を計画している。

項目2はデジタル採点システム。これは中学校に今年度から取り入れている。内容はパソコンを活用して、採点、集計業務をデジタル化しようという試みである。

項目3はコピー機にホチキス付プリンターの導入。作業効率化を目的としている。

項目4は統合型校務支援システム。これは通知表、毎日の出席簿、健康観察等をデジタル化するもの。これは現状導入している。

項目5は時間外在校等時間の把握システム。先生が何時に来て、何時に帰るという打刻をデジタル化するもの。グループウェア機能も搭載し、先生間での情報共有の効率化が行えている。導入済み。

項目6は留守番電話の導入。これについても導入済み。

項目7は学校徴収金の公会計化。現状教材費、給食費については、保護者の皆さんに農協を通して口座引き落としをしている。このことで、現金は学校の先生は触らない環境に

なっているが、この取り扱い自体を行政がやるようにと国が求めている。

具体的には教育委員会で学校の公会計化の作業をしていく。いつ開始するかは未定であり、勉強中の段階である。

以上の項目を来年度以降進めていくという計画である。

**【加藤町長】**

説明があったことについて各委員から意見等があればお願いしたい。

**【小野委員】**

項目1の保護者連絡システムについて、スマートフォンじゃないとできないのか。保護者の中ではガラケーの方もいる。この場合は買い換えないといけないのか。

**【天野参事】**

どのようなアプリにするかは検討中。ものによっては両端末で使用できるものもあるが、まだ未決定の段階。スマートフォンでしか使用できないという場合は、状況を丁寧に説明しながら、スマートフォンへの買い換えをお願いする。ただし、いきなり紙での連絡をやめるのではなく、段階を踏んで導入していく。

**【堀委員】**

教職員間を結ぶグループウェアの活用について、今後導入していくことで、朝礼や職員会議も今後は電子掲示板での共有になるのか。ペーパーレス化には繋がるが、デジタル化にしたら、本人が見ようとしないと見えない状況になり、情報が抜ける場合もある。できる限り情報共有については対面での方向を取り入れて欲しい。人と接する機会が少なくなることが懸念としてある。

**【天野参事】**

グループウェアの活用は進んでいる状況。朝礼や終礼の連絡事項はこれまで口頭で行っていたが、電子掲示板を活用することで、時間短縮を図っていく。

**【杉本教育長】**

情報伝達はグループウェアを活用すれば良いが、生徒指導上の問題や、校内で起こる問題について、共有が必須になる場合は一同に集まり、表情を見ながら共通理解をしていくことは当然大事なことになる。

**【加藤町長】**

その他、意見等はあるか。

全委員意見なし。

本日の議事を終了する。